

# 洞爺湖町地域公共交通活性化協議会における地域公共交通確保維持改善事業の概要

## 事業実施の目的・必要性

洞爺湖町の公共交通は、平成26年10月以前の花和経由の福祉バス、洞爺地区福祉バスにおいて利用者が少ない便が存在するなど、非効率的な運行となっており、洞爺湖町市街地、洞爺湖温泉地区や洞爺地区の一部には交通空白地域が存在し、交通空白地域の改善等による交通サービスの格差解消が課題となっていたことから、平成25年6月には「洞爺湖町生活交通ネットワーク計画」を策定し、同年10月より「虻田地区コミュニティバス」「洞爺地区コミュニティバス」「花和地区コミュニティタクシー」の3つの運行形態による新たな交通として、病院・買い物・温泉の生活維持や健康づくりを目的とした公共交通の運行を開始している。

運行を継続する中、利用者から、利便性の向上に対する要望があったため、時刻や運行便数の見直しが検討課題となっている。また、洞爺地区コミュニティバスにおいては、洞爺地区の高齢利用者から空白地域の改善の要望があり、運行ルートの見直しが課題となっている。

このため、洞爺地区の運行形態の見直しや地域公共交通確保維持改善事業により、本町における住民の生活交通手段を維持・確保し、地域幹線系統等への接続による公共交通を存続させていくことが必要である。洞爺湖町の地域・交通課題や住民ニーズ等を踏まえ、住民一人ひとりが幸せを感じる生活交通の構築と活力あふれ元気をつくる交通環境の創出を図ろうとするものである。

## 生活交通確保維持改善計画の目標

- ・虻田地区コミュニティバス 年間利用者数 10,700人(1便あたり4.9人)
- ・洞爺地区コミュニティバス 年間利用者数 1,700人(1便あたり2.4人)

## 令和5年度事業概要

- ・虻田地区コミュニティバス(JR洞爺駅～協会病院～JR洞爺駅)を運行
- ・洞爺地区コミュニティバス(洞爺高台地区～洞爺温泉病院～とうや水の駅)を運行

## 地域公共交通の現況

- ・JR室蘭本線(JR洞爺駅)
- ・道南バス(株)(9路線)
- ・虻田地区コミュニティバス(2系統)
- ・洞爺地区コミュニティバス(1系統)
- ・花和地区コミュニティタクシー(1系統)
- ・買い物支援バス(週1回2ルート各1往復)
- ・通学等支援コミュニティタクシー(3系統)

## 協議会開催状況

(主な協議事項)

令和5年6月28日 令和5年度第1回協議会

- ・令和4年度買い物支援バスの運行状況について
- ・令和5補助年度運行状況の中間報告について
- ・令和4年度洞爺湖町地域公共交通活性化協議会決算について
- ・令和6運行年度運行計画(案)について
- ・地域内フィーダー系統確保維持計画(案)について
- ・今年度の実施事業について

令和5年12月18日 令和5年度第2回協議会

- ・令和5補助年度洞爺湖町地域公共交通確保維持改善事業に関する自己評価(案)について
- ・洞爺湖町地域公共交通計画の一部変更及び令和6補助年度地域内フィーダー計画の一部変更について
- ・実施事業について

# 令和5年度事業の実施状況

## 1) プロセス、創意工夫

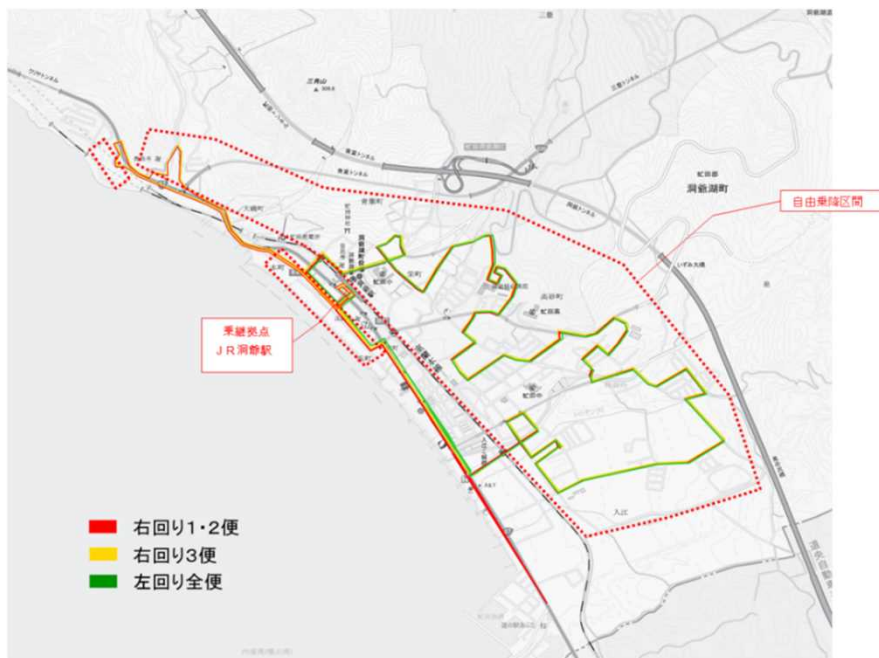
### ○プロセス

- H25.6 洞爺湖町地域公共交通活性化協議会発足
- H26.6 洞爺湖町地域公共交通ネットワーク計画策定
- H26.6 洞爺湖町地域内フィーダー系統確保維持計画策定
- H27.10 洞爺地区コミュニティバスをデマンド運行に変更
- H29.10 高齢者運賃を有料化  
運行状況・利用希望等の把握、変更案の作成、利用者等への周知、意見交換等の実施、運行計画の作成・運行

### ○創意工夫

- ・広報での周知・希望者あてに個人別時刻表等の配布(随時)
- ・乗降調査等の実施
- ・今後の交通体系構築に向けた意見交換を実施 など

## 2) 運行系統



### 3) 利用実績

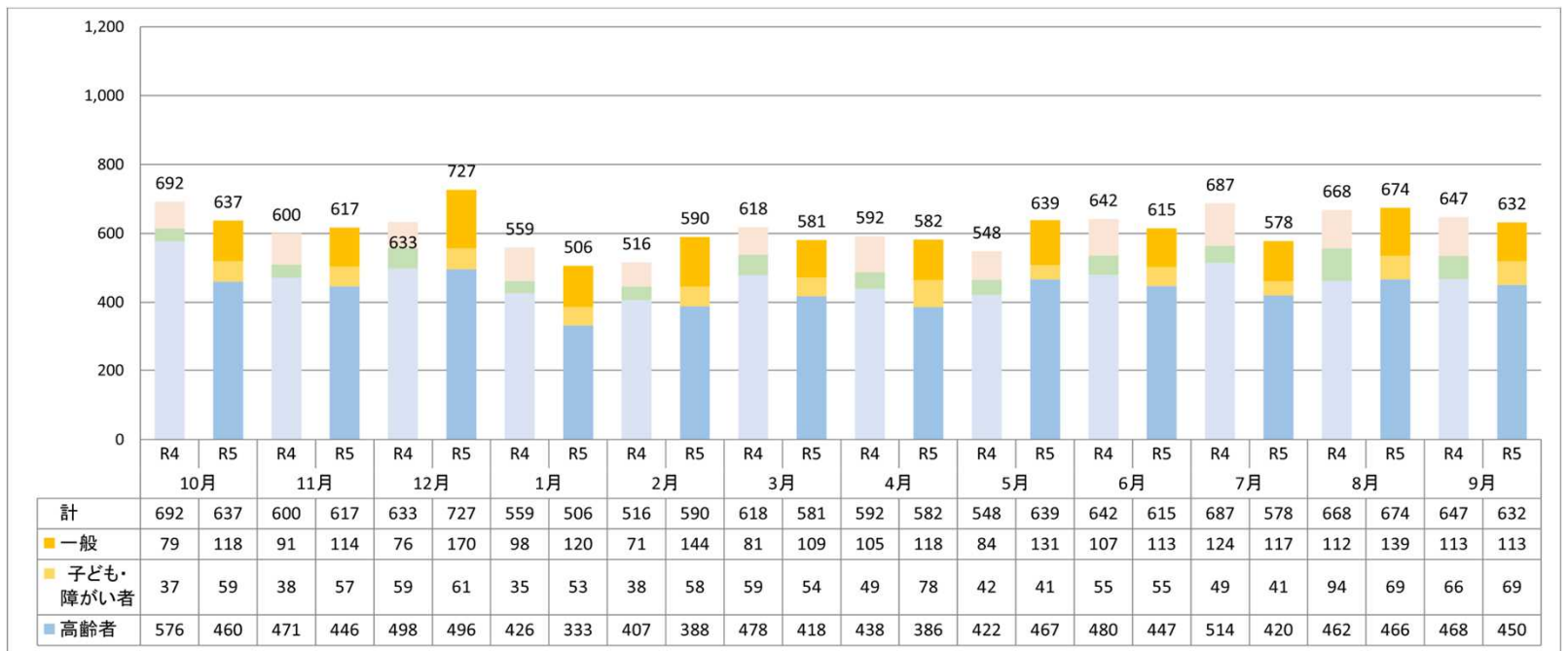
### 4) 収入実績

#### ● 虻田地区コミュニティバス

利用実績(単位:人)

R4 7,402人

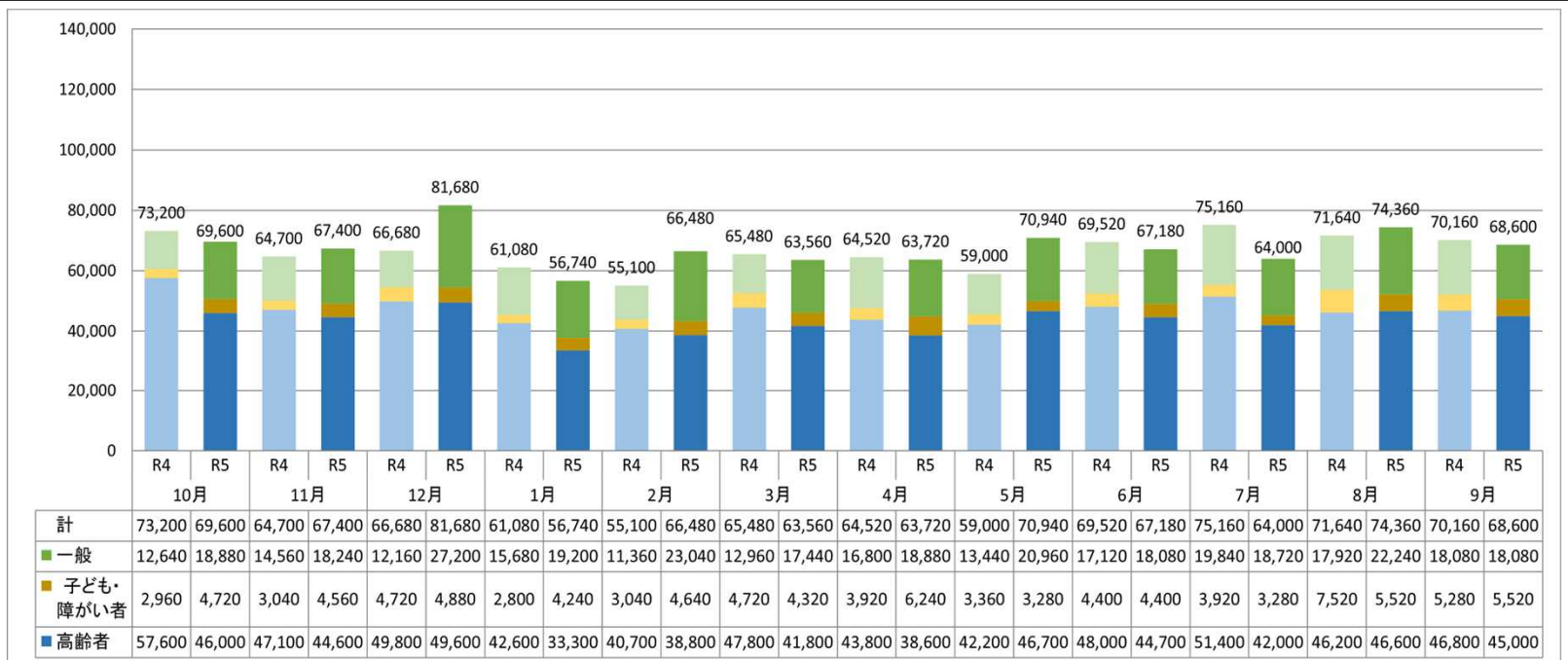
R5 7,378人



収入実績(単位:円)

R4 796,240円

R5 814,260円



### 3) 利用実績

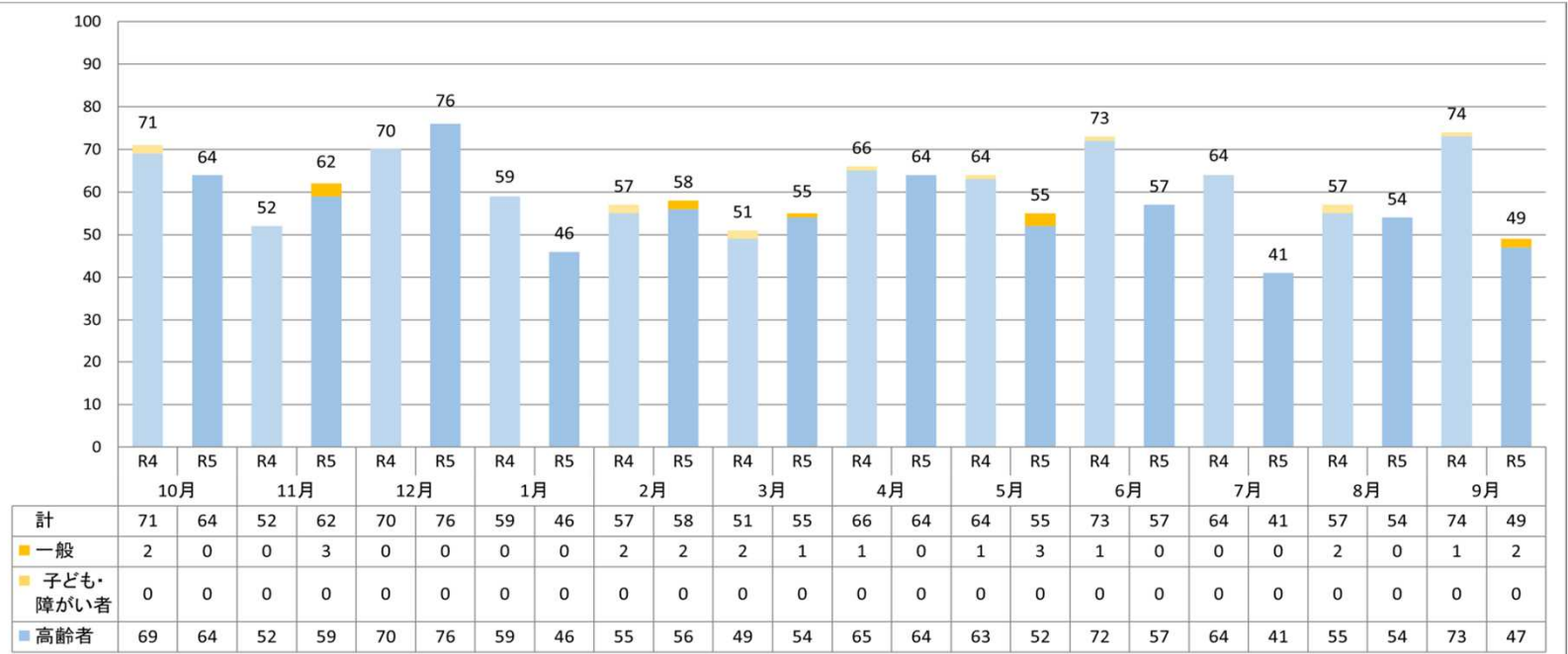
### 4) 収入実績

#### ●洞爺地区コミュニティバス

利用実績(単位:人)

R4 758人

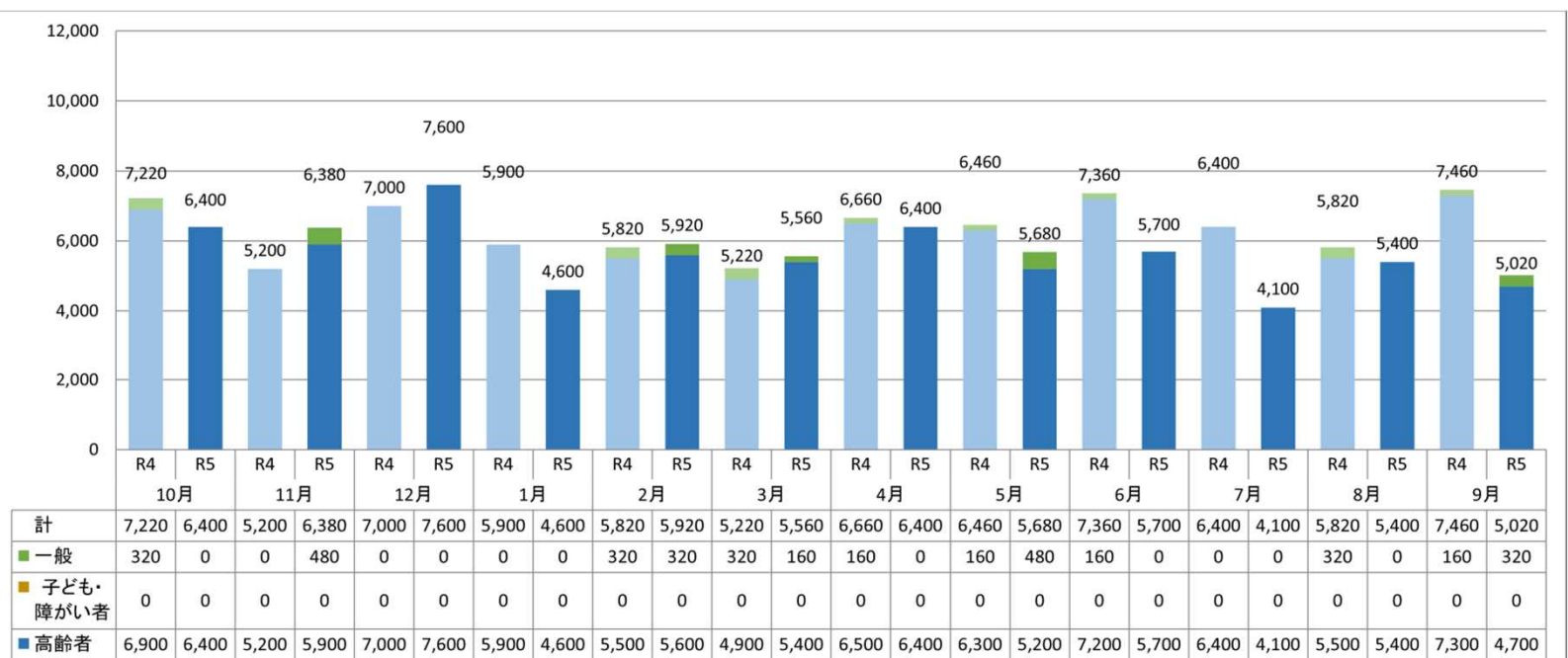
R5 681人



収入実績(単位:円)

R4 76,520円

R5 68,760円



## 5) 事業実施の適切性

- 虻田地区コミュニティバス
  - 洞爺地区コミュニティバス
- 事業が計画に位置付けられた通り適切に実施された。

## 6) 目標・効果達成状況

- 虻田地区コミュニティバス  
計画に位置付けられた目標を概ね達成した。  
目標① 年間利用者数 10,700人  
結果 年間利用者数 7,378人(達成率69%)
- 洞爺地区コミュニティバス  
計画に位置付けられた目標を達成できなかった。  
目標① 年間利用者数 1,700人  
結果 年間利用者数 681人(達成率40%)

## 7) 事業の今後の改善点

- 虻田地区コミュニティバス  
走行距離・走行時間の短縮  
買い物等利便性向上のためのルート変更  
路線バス等との接続・乗継の改善
- 洞爺地区コミュニティバス  
利用意向を踏まえた運行時刻の改善  
利用増加に向けた周知

## 8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を達成することができなかったが、今後も地域公共交通計画に基づき、利用促進策の取組を継続することを期待する。
- ・今後新たな目標を設定するにあたっては、持続可能な公共交通を維持する観点から、収支率といった事業効率の改善につながる目標を設定することもご検討いただきたい。